

平成29年6月16日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(60回公演)報告

29.6.14 熊谷生協病院2階病棟 熊谷市上之

午後1時30分から始まった第1回目の公演が2時15分に終わり控室に帰りました。

用意していた飲み物を飲み、飴を口にして少し休養をとった後、再び2回目の公演のため本館の2階にあるホールに向かいました。ホールには目下治療を受け入院して治療を受けている25人程の患者さんと8人の若い男性介護士さんが待っていてくれました。

デイサービスの方と違い皆さん病気療養中の方々に、中には点滴を受けながらのお客さんもおり、自然に言葉も慎重になってしまいます。

担当者の方の紹介に続き、各人短い自己紹介をして舂田さんからの向上で「南京玉すだれ」で演技に入りました。演技が始まると大きな手拍子は聞かれないものの、口唄に合わせて体を動かしている様子を見ることができ、体で感じてくれているんだと感激しました。

続いて少し「玉すだれ」の説明をして「きよしのズンドコ節」に移りました。皆さんは大きく開いた「玉すだれ」の形に静かに拍手をしてくれ、我々の演技が分かってくれた様子です。次に赤いエプロンを付けた若い男性5人の介護士さんと一緒に元気な「サザエさん体操」をみんなでやり、「東京五輪音頭」で30分の公演が終わりました。背にもたれ自由の利かない患者さんも何人もいました。遅かれ早かれ誰でも最後はお医者さんに厄介になります。皆さんが1日も早く、少しでも元気になる事を願い退出しました。良い経験をしました。



